

殺人者はその名を人目にさらされない権利を持ちうるか？

2008年、二人の有罪判決を受けた殺人犯は、ドイツの法律に基づいてウィキペディアや他のオンラインメディアに対して自分たちの名前の削除を求めました。個人のプライバシーは、市民の知る権利よりも優先されているのでしょうか？



1993年、Wolfgang Werle氏とManfred Lauber氏はドイツの俳優Walter

言論の自由についての討論

Thirteen languages. Ten principles. One conversation.

<https://freespeechdebate.com/ja>

Sedlmayr氏の殺人で有罪となり14年と15年の実刑判決が出されました。

2007年と2008年、彼らが釈放された際、Werle氏とLauber氏はドイツの週刊誌デア・シュピーゲルやウィキペディア（米国管轄）を含めた幾つかのメディアを相手取り、殺人者として彼らの名前が記載されたことに関し裁判所で言及しました。英語版ウィキペディアは彼らの名前の削除はウィキペディアのメディアの報道の自由を侵害していると拒否しました。同社は米国に拠点を置くため米国の憲法修正第一条によって同社が公表する権利は保護されています。そしてドイツの法律は、本拠点を同国におかない企業に対して法律の強制力はありません。

ドイツのハンブルグ裁判所の最初の審判では、二人の男性の名前の記載がWerle氏とLauber氏のプライバシーの権利を侵害したとし2008年、名前を削除することを命じました。なぜなら、1973年ドイツの裁判所の判決では、懲罰完了後、前科に対して公表がされないこととなっているからです。ドイツのウィキペディアの編集者は、その後、ドイツのウィキペディアのサイトから名前を削除しました。しかし、2009年ドイツの憲法裁判所は、報道の自由という法に反するため、Werle氏とLauber氏にある程度のプライバシーの侵害を受け入れる必要があると、判決を覆しました。また、ウィキペディアにとってすべてのアーカイブから情報を削除するといった作業が巨額な負担となるといった理由で、当判決が下りました。判決後、ドイツのウィキペディアの当ページのコンテンツには名前が復元されました

出版日：11月 16, 2012